

大幸帥大伴卿、酒を讀むる歌十三首

三三八番

驗なき ものを思はずは 一坏の 濁れる酒を  
飲むべくあるらし

三三九番

酒の名を 聖と負せし 古の 大き聖の 言の  
宜しさ

三四〇番

古の 七の賢しき 人たちも 欲りせしものは  
酒にしあるらし